

バケットミルカーの管理はどうか？

バケットミルカーを使わなければならない場面は多々あります。バケットミルカーの主な役割は牛乳の別搾りですが、バケットの性能が乳牛に悪影響を与えていることは少なくありません。従って、バケットミルカーの管理は決しておろそかにはできません。

1. バケットミルカーの使用対象牛

バケットミルカーを使用する牛は分娩して 間もない産褥牛と乳房炎の治療中の牛です。 これらの牛は以下のような特徴があります。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 産褥牛：①乳房炎になっている可能性は少ない。 | ②ストレスを受け易い。 |
| ③出荷前の生乳を搾る。 | ④これから出荷が期待される。 |
| 治療牛：①治療中である。 | ②牛乳と一緒に乳房炎菌を排出する。 |

2. バケットミルカーの役割

バケットミルカーの役割は以下の通りです。

- | | |
|---------------------|---|
| (1) 牛乳の別搾り | でいやな印象を牛に与えるとパイプラインミルカーが優れていても、牛はしばらく搾乳をいやがります。バケットミルカーは初産牛にとっては搾乳への馴致の道具であるともいえます。 |
| (2) 産褥牛（初産牛）の搾乳への馴致 | |
- 産褥牛の中でも特に初産牛にとっては初めて体験する搾乳です。ここで劣悪なミルカー

3. 理想的なバケットミルカー

バケットミルカーに必要な条件は以下の通りです。

- | |
|----------------------------------|
| ①清潔なバケットおよび搾乳器具 |
| ②パイプラインミルカーと同条件（パルセーター、クロー内圧）で搾る |

前述したようにバケットミルカーの使用対象牛は新たな乳房炎感染を引き起こさないようにバケットおよびユニットを清潔に保つことが重要になります。特に産褥牛に新たな感染を引き起こせば大きな損失になります。

次にバケットミルカーは搾乳牛への準備期間または馴致期間です。搾乳牛とできるだけ近い形での搾乳が望ましいことになります。

4. 横取りバケットについて

横取りバケットは、既存のバケットのフタ（写真1）を改造し（写真2）、パイプラインミルカーユニットのロングミルクチューブの中間にバケットをつないで搾乳を行う方法です（図1）。この方法だとバケットもパイプラインと同じパルセーターで搾るわけですから、理想的であるといえます。また、バケットミルカー用のパルセーター購入の必要がなく、経費の節減にもなります。ただし、クロー

そのため（パイプラインミルカー）と同様の真空圧、パルセーターが必要なのです。

しかし、現実にはバケットミルカーのパルセーターが劣悪な状況であることが多いです。またハイラインでのバケットミルカーの使用はリフトロスがない分クロー内圧が高くなります。

内圧はリフトロスがない分高くなるので注意が必要です。リフトロスの問題も解決できる改良型もありますので紹介しておきます（図2、写真3）。横取りバケットの方法ではパイプラインの自動洗浄でクローの洗浄ができます。1分房のみ、別搾りを行う場合にはクォーターミルカーの使用が効果的です。

原理は横取りバケットと同様です。

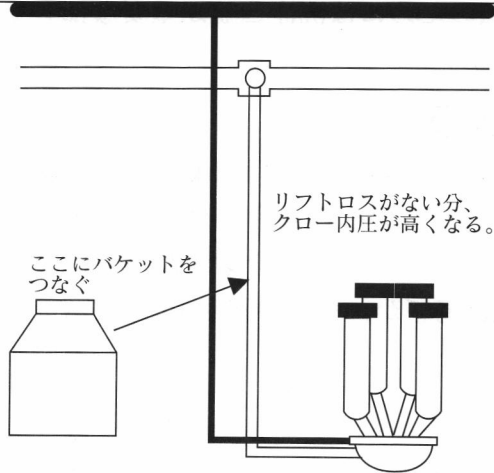


図1 横取りバケツミルカー

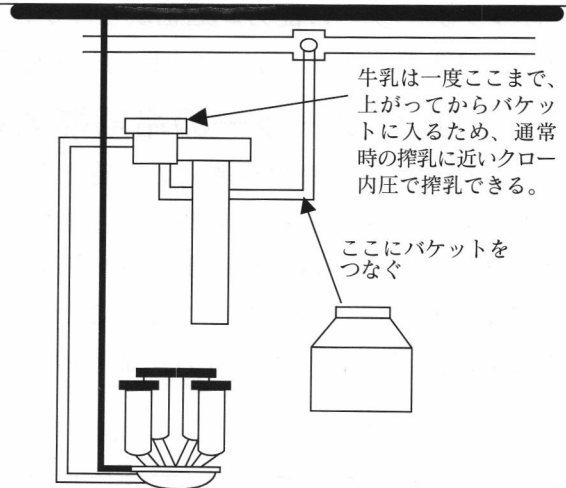


図2 リフトロスを考慮したバケツミルカー



写真1 既存のバケツミルカー

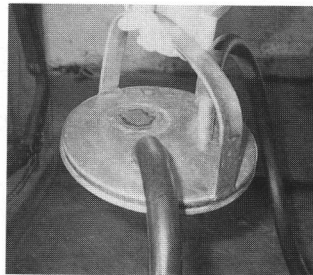


写真2 横取りバケツミルカー

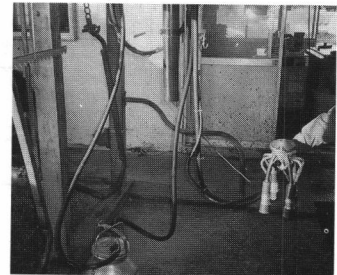


写真3 リフトロスを考慮した横取りバケツミルカー

IV やつてますか
器具の管理

5. バケツミルカー使用上の注意

(1) 目印を付ける
バケツミルカーで搾る牛の確認です。これを怠って間違っ
てパイプラインで搾
ったりすると多大な
損害を被ることにな
ります。これらの牛
には目印を付けまし
よう (写真4)。



写真4 マークバンド

(2) 治療牛と産褥牛の区別

次に治療牛と産褥牛を別に考えることが
必要になります。治療牛から出た乳房炎菌
がミルカーを介して産褥牛に感染する可能
性があるからです。治療牛は搾乳牛と区別
して最後に搾乳しましょう。

(3) 過搾乳に注意

バケツミルカーではパイプラインミル

カーと比べて真空圧が高くなります (ハイ
ラインの場合)。そのためミルカーのかけす
ぎによる過搾乳は乳頭を痛めます。

(4) バケツの転倒

これは横取り方式のバケツミルカーで
搾乳した場合にもっとも気をつけなければ
ならないことです。転倒するとバケツ内
の初乳や乳房炎乳がパイプラインに流れ込
みます。

(5) バケツの洗浄について

バケツミルカーの洗浄状態をきちんと
確認しましょう。バケツミルカーもパイ
プラインと同様の洗浄手順を経て、丁寧
に行うべきです。クロー洗浄はエアブラッ
シングを行うことによって洗浄効果が高ま
ります。